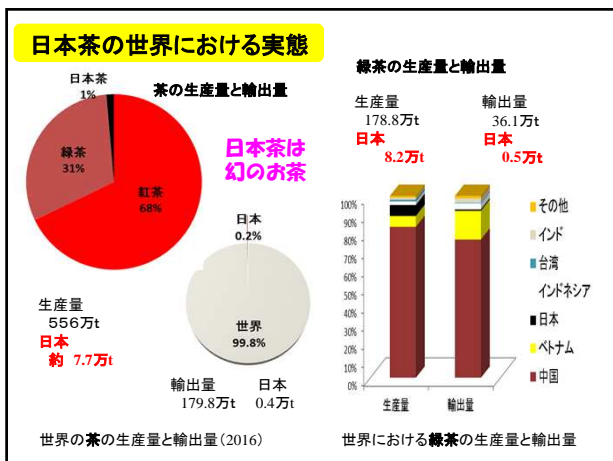
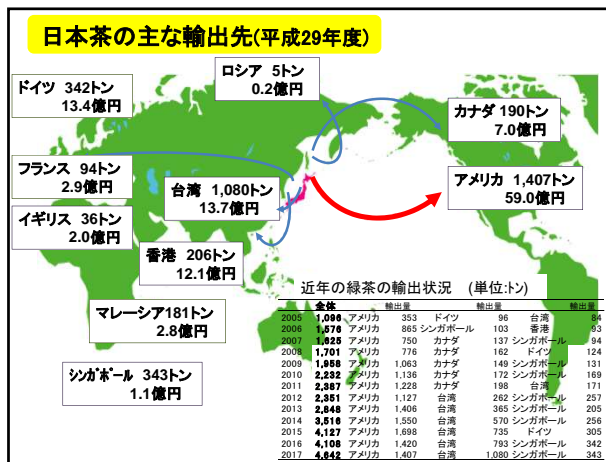
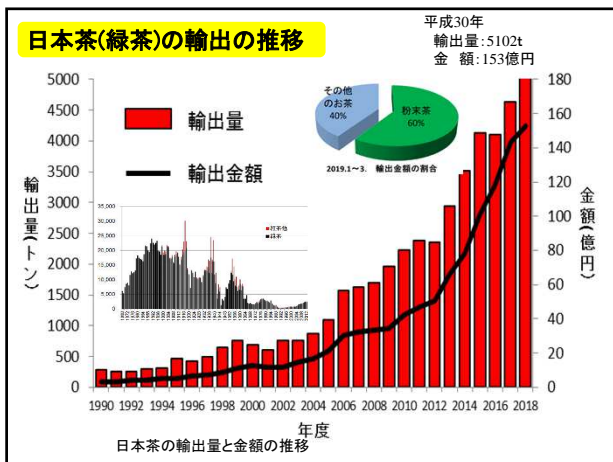
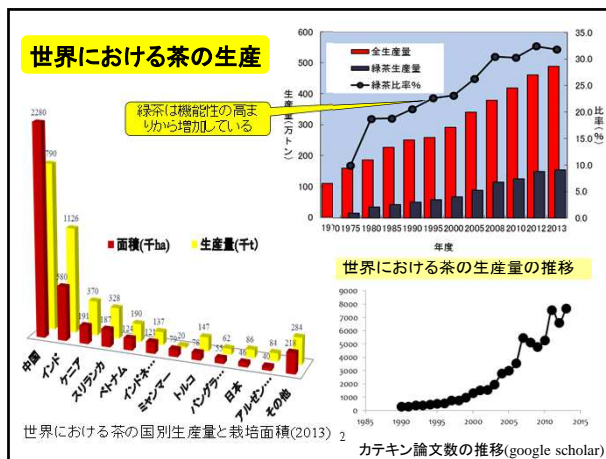


令和元年9月



いま話題の抹茶 世界展開を考えるためには

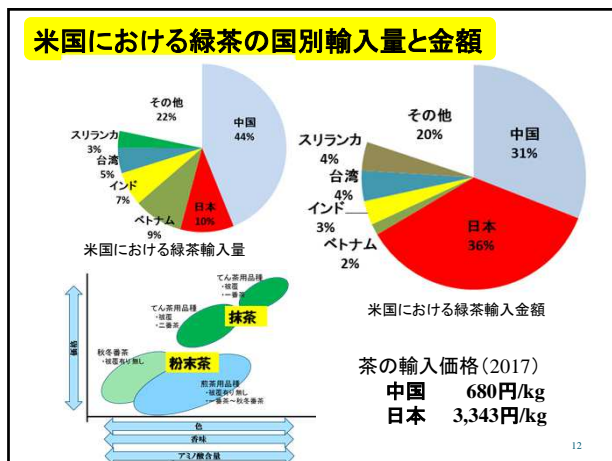
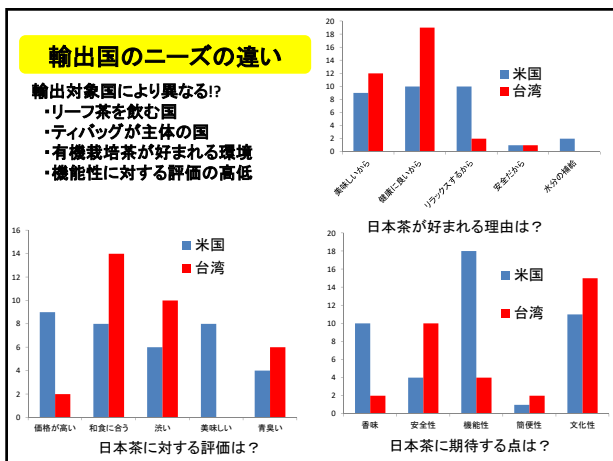
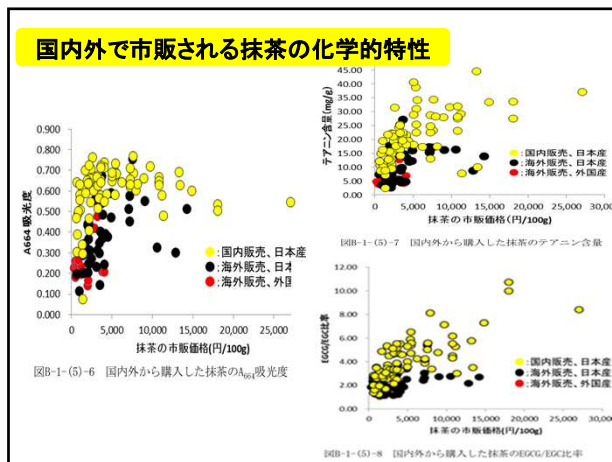
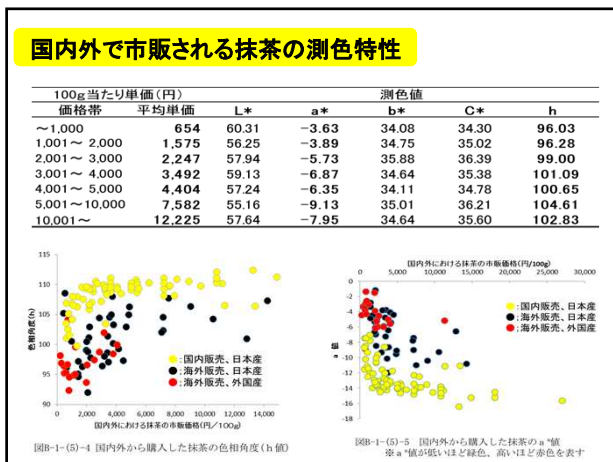
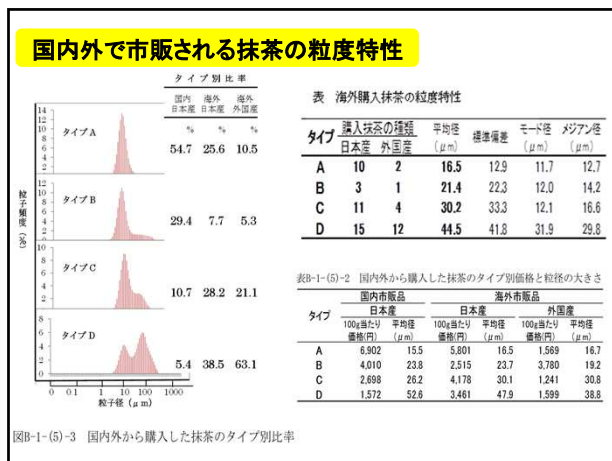
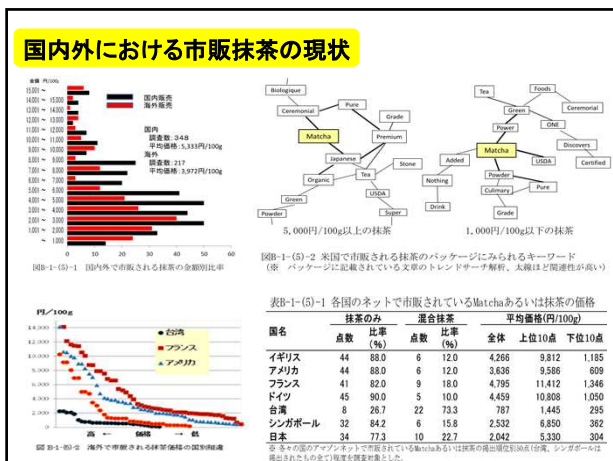
静岡県立大学 中村順行

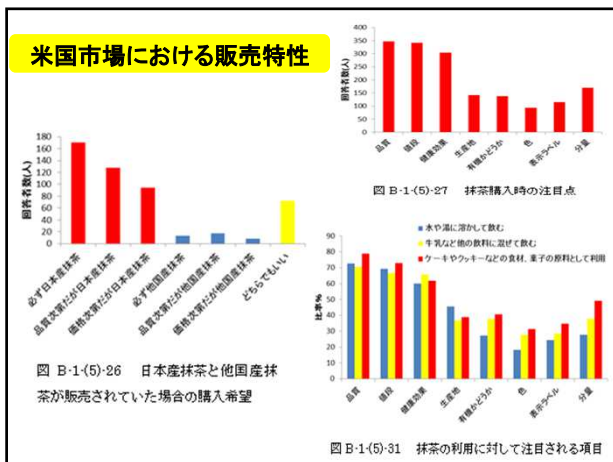
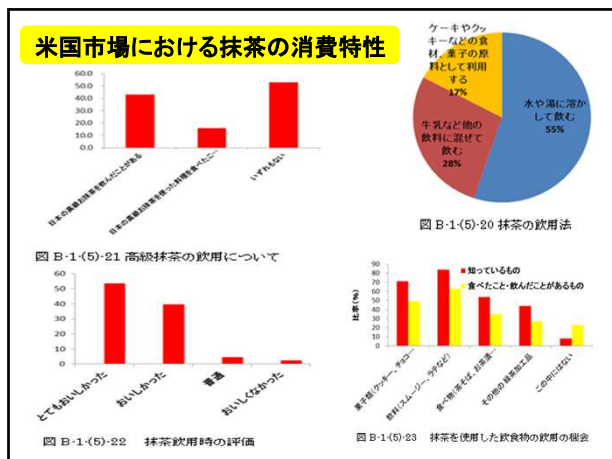
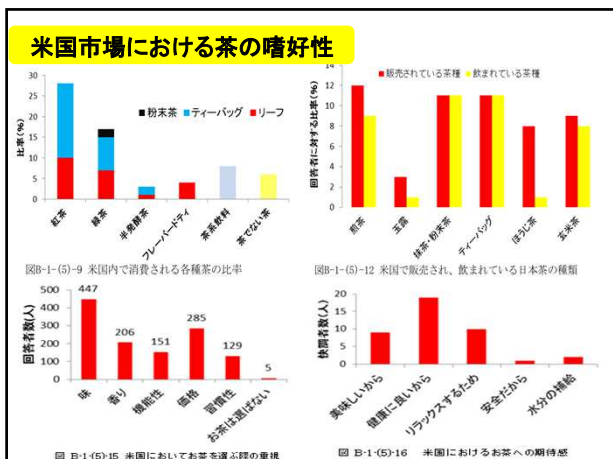


海外で市販されている抹茶

- 全ての成分が摂取可能なこと
- 健康に良さそう
- 緑色がきれいで美味しい
- 文化性が豊かである
- 他用途利用しやすい







海外輸出展開を図る上での課題

- 競合する中国産との価格差
- 残留農薬問題
- 各国の輸入条件の不統一性
- 輸出先国に対するマーケティングの不足
- 国内の輸出茶生産体制の不備や輸出手続きの煩雑性
- 日本茶教育の普及(品質、飲み方、多用途利用 など)
- 販売戦略の不足(急須のない消費地など)